

## チャイルド・アウレット

- 1 アースキン奥様は部屋に座って  
絹糸で縫い物をしていました  
出入りするチャイルド・アウレットのために  
金色の鎖を縫いつけました
- 2 ある日のこと 奥様は  
チャイルド・アウレットに言いました  
「ロナルド卿から私を寝取ってごらん  
あの人の土地や牧草地は 全部お前のもの」
- 3 「ああ やめて下さい 奥様 いけません  
そんなことは あってはなりません  
ロナルド卿の甥のぼくが  
どうして奥様を寝取れましょう」
- 4 すると奥様はベッドの下から  
ペンナイフを取り出しました  
緑のコルセットの紐の下に差し込んで  
体から血を流しました
- 5 奥様のうめき声を聞きつけて  
ロナルド卿が駆けつけました  
「炉端に散っている血は  
お前 一体どうしたのだ」と言いました
- 6 「あなたの甥の若いチャイルド・アウレットが  
たった今 私の部屋から出て行ったわ  
私が貞淑な女でなかったら  
あの甥の情婦になるところ」
- 7 ロナルド卿はすぐに甥を捕まえて  
頑丈な牢に入れました  
家来がみんな集まって  
処罰の仕方を話し合いました
- 8 ある者はチャイルド・アウレットを吊し首に  
ある者は火あぶりの刑に と言いました  
中には荒馬に引き裂かすがいい  
と言う者もおりました

9 「厩うまやには

とても足の速い馬がいる

そこへ行つて

四頭をうまく連れ出して来い」

10 家来たちはチャイルド・アウレットの手と足を

それぞれ四頭の馬に縛りました

そしてダーリングの荒野めざして

全速力で走らせました

11 ダーリングの荒野には

チャイルド・アウレットの

ちぎれた皮膚と血糊が

小枝やピートの土手に飛び散りました

12 ダーリングの荒野には

チャイルド・アウレットの

ちぎれた肉片と血糊が

小枝やイグサに飛び散りました

(近藤和子訳)